

被爆 64 周年 平和祈念の黙とうを

- 8月6日 午前8時15分 広島市 —
- 8月9日 午前11時2分 長崎市 —

広島・長崎両市は、今年、被爆 64 周年を迎えます。

現在の核兵器を巡る世界の状況を見ると、4月にオバマ米国大統領がプラハで行った「核兵器のない世界」の実現に向けた歴史的な演説や、米国とロシアによる新たな戦略兵器削減条約の締結に向けた交渉開始などに象徴されるように、世界は核兵器の廃絶に向けて今まさに歴史的な転換点に差しかかっています。

こうした状況の中で、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、本年も、広島市では8月6日に「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」を、長崎市では8月9日に「被爆 64 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」を挙行いたします。

両市では、原爆投下時刻に、一斉にサイレンや鐘が鳴り渡り、式典会場はもとより、職場や家庭で原爆死没者のめい福と平和への願いを込めて、1分間の黙とうを捧げることにしております。



広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式



被爆64周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

この黙とうが広島・長崎にとどまらず、全国に広がり、世界平和を願う「祈りの日」となるよう、昭和 54 年から全国の都道府県、市、特別区等に対し、住民や職員に対する黙とうの呼び掛けについて御協力をお願いしてまいりました。

昨年は 813 の自治体に呼び掛けましたところ、約 83%にあたる 674 の自治体の御賛同をいただきまして、このうえない励ましと深く感謝いたしております。

本年も、都道府県、市、特別区を始め、全国知事会及び全国市長会へ広島市長・長崎市長の連名で黙とうの実施をお願いいたしております。

何とぞ、この黙とうの趣旨に御賛同いただきまして、私どもの願いである平和を祈念する黙とうの輪をなお一層広げていただきますようよろしくお願い申し上げます。

広島市長 秋 葉 忠 利
長崎市長 田 上 富 久